

地域から日本を変える Local Initiatives Transform Japan

サポーターズタイムズ

Supporters Times



2005年(平成17年) 10月1日(毎月1日発行) No. 123

発行所
秋葉けんやサポーターズ事務所
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈 4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
E-mail:kenya@akiba21.net

購読料 年額6,000円
振込先 秋葉けんや後援会
口座番号 七十七銀行本店(普) 6385206
仙台銀行黒松支店(普) 2336691
郵便振替 02290-2-37770
編集 ㈱アクトジャパン

衆議院議員 秋葉 けんや 政策・活動レポート

改革を止めない!!

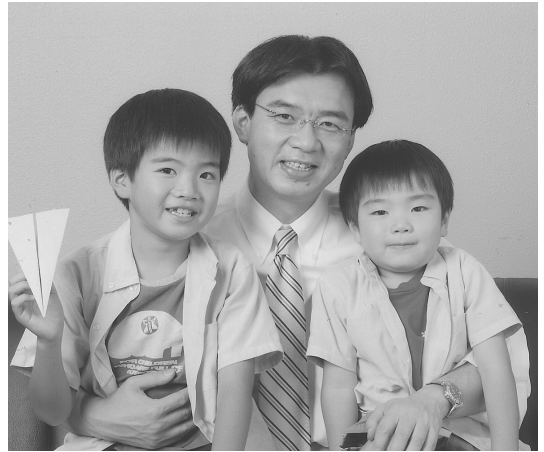
先の第44回総選挙では、本当に多くの皆様のご支援をいただき、おかげ様で2回目の当選を果たすことができました。改めて心より厚く御礼と感謝申し上げます。4月の補選の初勝利からわずか4ヵ月足らずでの再選挙となり、正直、苦しい選挙戦でしたが、小泉改革を成し遂げるため、寝食を忘れて頑張り抜きました。

今後とも130,257票の重みをしっかりと受け止めて、国民の声(ニーズ)をルールづくり(議員立法)を通して実現したいという初志を貫いていく決意です。

私は政治家として、的確な時代認識を持つことが重要だと考えております。それは私たちが今まさに歴史的な転換点に立っているということです。少子高齢化が急速に進展し、本格的な人口減社会を目前に控えるなかで、子や孫の世代に負担を先送りすることなく、活力ある社会を構築していかなければなりません。そのためには『官権から民権へ』という潮流を着実に定着させ、「民間にできることは民間に」、「地方にできることは地方に」との方針の下、金融、税制、規制、歳出にわたる広範囲な構造改革を進めていくことが不可欠です。

かつて新しい時代を切り拓いてきた原動力は、常に若々しいエネルギーの高揚にあったように、私ども若い世代は勇気と情熱を持って改革の先頭に立っていかなければなりません。民主党の前原新代表は私と同年の43才、松下政経塾の塾生時代には寮の部屋も隣同士でよく熱い議論を交わしたのですが、心からエールを送りたいと思います。ケネディ大統領やブレア首相とともに43才でトップに就任していますが、互いに切磋琢磨していわば善政競争をしていくことが大切だと考えております。痛みを恐れず、既得権益の壁にひるまず、過去の慣例にとらわれず、一身を投げ出し、代議士の職責を果たすべく、全力を尽くしてまいります。

衆議院議員 秋葉賢也



改革に「Yes」を、しがらみに「No」を。

www.akiba21.net

ふるさと宮城そして未来の子どもたちのために、

秋葉賢也は公約を守り引き続き構造改革を推進します！

今回の選挙で秋葉賢也は、6つの基本方針と21項目の政策を掲げました（詳細は秋葉賢也ホームページ www.akiba21.net または選挙公報をご覧ください）。今国会で、まず次の政策を実現します！

郵政民営化

参議院で否決された郵政民営化関連法案を今国会で成立させます。郵政民営化は、①郵政事業の経営における自由度を増し、利用者のニーズに応じた新たなサービスの提供を可能にする等、国民の利便性の向上に資するだけでなく、②郵貯・簡保の資金340兆円が民間市場に流し、38万人の郵政職員を公務員から民間人にする事で、経済を刺激・活性化するからです。

ふるさと宮城県民の皆様の中には、現存の郵便局がなくなるのではという不安を抱かれる方もおられるかもしれません。特に郵便局が過疎地において重要な役割を果たしていることから、法律案では、2兆円の対策基金のほか、過疎地の拠点維持への配慮を明確化する設置基準を定め、拠点維持の努力義務規定を設けます。これにより、全国2万4700ある郵便局チェーンを有効に利用し、事業の多角化を進め、郵便事業の黒字化を図ります。

更生保護制度の見直し

4月の補選で当選させて頂き、衆議院法務委員会の委員として一期目を務めました。

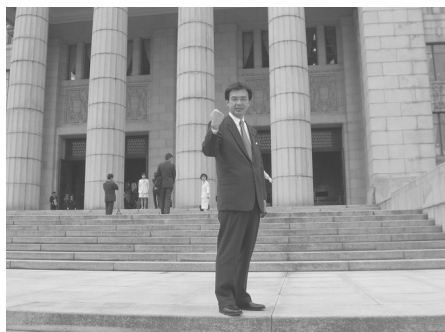
特に執行猶予者の保護観察を含む保護観察制度の問題点については、一般質疑の中で南野法務大臣に訴え、現行法の改正の必要性を提言しました。こうした国会での秋葉議員の提言もあり、党の政調会法務部会で議員立法として『執行猶予者保護観察法の一部を改正する法律案』がとりまとめられました。衆議院の解散により前国会における同法案の提出は見送られました。

執行猶予者の高い再犯率に鑑みて、また保護司としての立場からも、今特別国会で改正法案を成立させます。

障害者が自立して生活できる社会へ

障害者の地域生活と就労を進め、障害者の自立支援を図る観点から、前国会に提出されたのが（但し衆議院の解散で廃案となりました）『障害者自立支援法案』です。今国会では、この法案の成立に向け取り組みます。この法案は、例えば身体障害者に適用される身体障害者福祉法、知的障害者に適用される知的障害者福祉法のように、これまで障害種別毎に異なる法律に従って提供されてきた福祉サービス、公費負担医療費等を一元的に提供する制度を創設する目的で作成されました（詳しくは厚生労働省HP www.mhlw.go.jp/topics/2005/02/tp0214-1.html をご下さい）。

①国と自治体の財政的責任を明確化し、②精神障害を含むサービスの一元化を定めた等、この法案には、評価できる規定が盛り込まれております。障害者の自立支援にとって必要なサービス提供を確保しつつ、費用を皆で負担し支え合うことで、長期的にも障害者制度全体の持続性を確保できる制度を創設します。



松下政経塾出身の 政治リーダーたち

志をもった政治指導者を育てる目的で26年前に故松下幸之助氏により設立されたのが、財団法人「松下政経塾」（神奈川県茅ヶ崎市）。秋葉賢也議員も、この私塾で政治を学んだ。

9月の総選挙により塾出身の国会議員は30名に上った。内、自民党所属の塾OBは8名から13名に増加し、反対に民主党所属の塾OBは20名から15名に減少した。

9月17日に「しがらみ」「既得権益」にとらわれないことを強く訴え民主党新代表に選ばれた前原誠司氏も、塾出身者であり秋葉議員と同じ43歳である。

1期生であり外務副大臣を務める逢沢一郎衆議院議員をはじめ、3期生の松沢成文神奈川県知事、10期生の中田宏横浜市長など、塾出身の政治リーダーの活躍も目覚ましい。

秋葉賢也 !! 早くも国政2期目始動 !!

多くの皆様のご支援、心から感謝申し上げます



9月5日小泉首相来仙

2005年9月11日(日)

衆議院宮城県第2選挙区

選挙結果



9月2日武部幹事長来仙

候補者氏名	政党	前・元・新	得票数	泉区	宮城野区	若林区
◎秋葉 賢也	自民	前	130,257	56,118	43,744	30,395
門間由起子	民主	新	98,645	41,700	31,768	25,177
五島 平	共産	新	17,906	7,233	6,109	4,564

20日(火)総選挙後初上京!! さっそく当選報告と御礼へ



武部勤幹事長と



安倍晋三幹事長代理と

20日(火)、秋葉議員が総選挙後初めて上京いたしました。そしてまず武部幹事長、安倍幹事長代理に当選の報告と御礼に伺いました。武部幹事長からは、「早くも当選2回おめでとう!次は副幹事長でもどうだ?」と選挙の労いと激励の言葉を頂きました。

安倍幹事長代理には、「前は6回も仙台にお越し頂いたのに、今回は一度もおいでになれず残念でした。」と、冗談交じりに申し上げると、「秋葉さんは善戦しているとの報告があったから、もっと苦戦している所に行ったんだ。」と話しておられました。

佐田筆頭副幹事長や党職員の方々にも挨拶し、皆様から2期目もしっかり頑張るよにとの叱咤激励を頂戴しました。

第163回特別国会召集!!

第163回特別国会が21日に召集され、小泉純一郎総裁が衆参両院で内閣総理大臣に指名されました。政府与党では今国会に郵政民営化関連法案など22法案の提出を予定しており、選挙公約であった郵政民営化実現など全法案の42日間の会期中成立をめざし全力を挙げる方針です。



国会議事堂中央玄関前にて

召集日には、初めて国会議事堂の中央玄関より登院しました。議事堂 **決意も新たに初登院!!**

中央玄関は、今回のように総選挙後初の召集日など限られた日にしか開けられないため、4月の補選時は協の衆議院正玄関からの登院でした。

初登院後、マスコミからの取材に対して秋葉議員は「2期目も新人のつもりで仕事をしていく。議員立法を成立させたい」と決意を新たにしました。

2期目も精一杯頑張って参ります!!!

いよいよ郵政民営化実現へ!!



新たに文部科学委員・災害対策特別委員に選任

9月22日、衆議院議長より委員会の選任が行われました。秋葉議員は1期目に引き続き法務委員会と、新たに文部科学委員会、災害対策特別委員会の3委員会に所属することになりました。諸問題について、各委員会の活動を通じて積極的に取り組んで参ります。

文部科学省の取り組み



文部科学省では、従来の文部省のイメージである教育(初等中等教育局、高等教育局)に力を入れている他にも科学技術の推進(科学技術・学術政策局)や芸術家の養成・芸術創造活動への助成(文化庁)、先日起った宮城県沖地震などの地震や宇宙についての研究(研究開発局)も行われています。

左)教育・文化及びスポーツの振興を通じて地域づくりを振興するため、文部科学省内に『地域づくり支援室を設置。人づくりからの地域づくりを目指す取り組みの支援や企画立案、専門家の派遣などを行っていくことで、取り組みの全国的な普及や教育関連の総合的な支援体制の整備を図っている。



左)文化庁は芸術創造活動の推進、文化財の保存と活用、文化ボランティアの推進など、文化行政の新たな展開を図りながら我国の「文化力」の向上を目指しています。文化行政として、ミュージアム・プランや、芸術家の養成研修、日本映画の振興プランなどが取り組まれています。こうした取り組みを通し、質の高い教育と文化を持った文化立国の実現が求められています。

秋葉賢也は県議時代から芸術や文化の振興への取組みに対して注目し、尽力してきました。今後も委員会の中心となって頑張っていきたいと思っております。

詳しくは文部科学省 HP <http://www.mext.go.jp>、文化庁 HP <http://www.bunka.go.jp/>

発見!国会トリビア! vol.5

「なくなるの!?議員年金」

— 秋葉賢也は議員特権の廃止に取り組めます —

『議員年金』、正式には国会議員互助年金とよばれるもので、国会議員互助年金法によると国会議員が退職した時には、普通退職年金…勤続10年以上で退職した議員につき、年額約400万円支給。という仕組みになっています。国民年金が40年間納付して年額79万円程度の支給であるのに対し、議員年金は勤続10年以上で年額約400万円もの支給があります。

比べてみるとやはり議員年金が加入期間や支給額において極めて優遇されており、議員特権という色合いは否めません。秋葉賢也は現行の議員年金制度の廃止に向けて全力で取り組んで行くことをお約束します!!

あなたもお掃除ボランティアに参加しませんか?

日時:毎月第2日曜日 午前8:00より9:00まで

場所:上谷刈の仙台事務所前集合(環状線沿い歩道のゴミ拾い)

※ゴミ袋、火ばさみ、軍手等をご持参下さい。

次回予定は10月9日です。是非ご参加下さい!!

9月11日に恒例のサポーターズ掃除の会による、歩道のゴミ拾いを行いました。国会議員として、今後も仙台と東京を行き来しながらの活動となりますが掃除の会など地元での活動も変わらず積極的に行って参ります。今後も多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

お問合せは、仙台事務所 022-375-4477まで



秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、43才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。(財)松下政経塾卒塾(宮城県初)。
- 衆議院議員(二期目)、法務委員会委員、文部科学委員会委員、災害対策特別委員会委員、保護司、宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問など多方面で活躍中。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球・空手などスポーツ、音楽、映画。

